

暮らし方を見直す家族移住

N・H&Mさん

age. 40代

夫婦と1児（3歳）

2015年3月末 朝来市山東町に移住

Hさん：神戸市→栃木県→朝来市

Mさん：大阪→栃木県→朝来市



★ 現在のお仕事

Hさん：法人役員

Mさん：主婦

起業しました

🎮 趣味など

Hさん：娘と遊ぶ、移住者仲間と交流する。

Mさん：自宅や友人宅、公園などで過ごす。

❤️ お気に入りの場所

Hさん：なんだかんだ言って、自宅が良いです。

Mさん：山城の郷（朝来市）。程よい遊具があり、景色も良く、大人も子供も楽しく過ごせます。

🚩 目標・したいこと

Hさん：娘が安心して成長できるような地域づくりに関わりたいです。

Mさん：これからもこの土地での暮らし・子育てを楽しみたいです。



HISTORY

💡 移住検討のキッカケ

Hさん：栃木県で東日本大震災に遭い、働き方・暮らし方を見直したいと考えました。

Mさん：夫の仕事の都合で大阪から栃木へ行きましたが、関西に帰りたい気持ちが大きかったです。

2011年夏頃

👤 移住前に相談した人

Hさん：パートナー

Mさん：パートナー

🏠 住まいの探し方

協力隊の着任が決まった時点で、自動的に決まりました。

👍 現在の地域に移住した決め手

2015年3月末

Hさん：地域おこし協力隊での採用が決まったこと。以前から、近畿圏の程よい田舎で生活したいと思っていた。

Mさん：実家（大阪）よりそれほど遠くないからというのと、移住関連イベントで出会った朝来市役所の職員さんが魅力的だった。

朝来市山東町を知ったのは2015年1月

☔ 移住にあたり苦労したこと

Hさん：それまでの収入から下がるのが目に見えていたので、生活が成り立つかどうか不安でした。

Mさん：希望しかありませんでした。

+ 移住前後の暮らしの変化 -

プラス面

Hさん：自分の意志で仕事を組み立てられるようになったことで、ストレスが減りました。

Mさん：人や車の混雑がなく、信号も少なく、とても暮らしやすいです。現在3歳児の子育て中ですが、半径数キロ以内で遊ばせられる施設や公園も十分にあり、また同じ子育て世代の人たちとも知り合いやすく、日々を楽しめています。

マイナス面

Hさん：衣類や家電などの買い物をしたいとき、近くの店舗では品揃えが不十分とすることがあります。

Mさん：ちょっとものめずらしいものを見たい時に都会が遠く感じます。また、近所の方との距離感を難しく感じる時期が続きました。

💰 利用した移住・住宅・起業等の支援制度

協力隊制度が支援制度と位置付けるのであれば、それが利用した支援制度です。その他はありません。

📢 移住検討者にメッセージ

Hさん：田舎での生活が理想の生活に繋がるようなことをメディアで言うことがありますが、実際は良いこともそうでないこともあると思います。それらを事前にどれほど把握できるかが重要になると思います。その判断をするためにも、検討段階で移住検討先のいろんな人と出会ってお話されることをお勧めします。

Mさん：自分には田舎暮らしが合っていると思ってここへやってきましたが、都会に出たいと思うこともしばしばあります。どんな暮らしがしたいのか、自分で考えるだけではなくいろんな人と話す中ではっきりさせていくと、満足のいく暮らしに近づけるのではと思います。

事前のご連絡でお会いできます